



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成31年3月12日 第103号

発行者：校長 菅野 定行

地域の方からのお電話

～地域に愛される西高～



〈3月5日会場準備〉

前期選抜試験の準備のため、全校で大掃除を行った3月5日（火）11:50ごろ地域の方からお電話がありました。

「蛇田岡埜栄泉付近の交差点で一時停止をして自転車2名の女子の西高生を渡らせてあげました。すると運転席の方に向かって深々と頭を下げて渡っていきました。今時、そういう高校生がいるんだと、とても心が温まりました。先生方、生徒の皆さんにお伝えください」

3年生の先輩方は卒業しましたので、1・2年生だと思いますが、その二人を探すつもりはありません。ただ日々の何気ない一つ一つの西高生の行動を地域の皆さんは見ています。いい話だけではなく、2月末にはあゆみ野駅での乗車マナーについてお叱りの電話もありました。

新年度からは、総合的な学習の時間を用いて、積極的に地域に出かける予定です。地域に触れ、地域に学ぶことで、地域を担う人材を西高から数多く輩出したいと思います。そのためにも挨拶や身だしなみなどの基本的な生活習慣を整え、地域に愛され、地域になくてはならない学校を西高は目標としています。

後期選抜 ～130名が受験～



〈取材を受ける西高受験〉

平成31年3月6日（水）後期選抜に130名もの受験生の皆さんが西高を選んでくれました。後期も前期同様地区で1、2を争う高い競争倍率でした。このところ毎年恒例（三年連続）となった報道機関も取材に訪れ、7日

（木）の朝刊で西高の受験の様子が掲載されていました。当日は天気にも恵まれ、大きな混乱もなく無事に5教科の試験を終えることができました。合格発表は14日（木）15時から行われますが、前期と合わせ入学予定の160人の皆さんを27日（水）合格者説明会でお待ちしています。

みやぎ鎮魂の日

昨日3月11日は県内各地で震災に関する様々な活動が行われたと思います。あの日から8年が経過しました。忘れられつつあることも報道されていましたが、私達西高は、これからも忘れることなく当時のことを伝え、30年以内に90%の確率でやってくる震災に備えなければなりません。

それには派手なことは必要ありません。防災に対する当たり前の意識と行動を徹底することです。「凡事徹底」はここでも必要な言葉です。